

中運交企第151号
令和5年3月10日

越前町地域公共交通活性化協議会
会長 青柳 良彦 殿

中部運輸局長
(公印省略)

令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL:052-952-8006

自治体・協議会名	越前町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・デマンドタクシーの利用促進に向けて、町内主要施設やイベント会場などへの周知チラシの設置・配布等に取組まれていることを確認しました。

期待する取組

- ・地域公共交通計画に沿って各種事業を着実に進められるとともに、事業の進捗管理についても併せて取組まれるようお願いいたします。
- ・地域公共交通計画の目標、実施内容、実施結果に関する評価・分析を定期的に行うとともに、必要に応じた見直しを進められることを期待します。
- ・デマンドタクシー移行後の輸送実績において、利用回数が大きく減少しており、特に高齢者の外出回数が減っていると考えられるため、更に細かな分析、調査を通じ、現状を把握し、課題を整理の上、今後の対策を検討されることを強く期待します。
- ・町内を運行する地域間幹線系統のうち、輸送量が低迷している系統について、現状や問題意識を県・関係市町・関係事業者と共有するとともに、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向け県や関係者と連携して取組を実施されるよう期待します。

路線バスの状況

ア 輸送人員と路線バス維持支援補助金

＜京福バス＞

路線名		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
西田中宿堂線(国) 天王～福井駅	輸送人員	42,015 人	39,785 人	38,782 人	39,923 人
	町補助金	0 千円	658 千円	355 千円	526 千円
栞崎線 (県) 水仙ランド～福井駅	輸送人員	29,274 人	26,160 人	21,348 人	20,120 人
	町補助金	733 千円	935 千円	786 千円	873 千円
清水西田中線(町) 天王～プラント3	輸送人員	1,845 人	1,712 人	1,495 人	1,499 人
	町補助金	2,594 千円	2,647 千円	2,657 千円	2,788 千円
清水織田線(町) 織田～プラント3	輸送人員	692 人	559 人	710 人	864 人
	町補助金	7,662 千円	7,920 千円	7,720 千円	8,101 千円
西田中宿堂線(町) 天王～宿堂(ハツ俣)	輸送人員	952 人	1,996 人	1,432 人	1,348 人
	町補助金	6,322 千円	6,604 千円	6,353 千円	6,507 千円
ほやほや西田中(県) 天王～プラント3	輸送人員	1,334 人	1,048 人	940 人	963 人
	町補助金	548 千円	465 千円	488 千円	629 千円
ほやほや織田(県) 織田～プラント3	輸送人員	2,078 人	1,856 人	1,969 人	2,569 人
	町補助金	1,136 千円	1,441 千円	1,961 千円	2,746 千円
ほやほや栞崎(県) 水仙ランド～若杉	輸送人員	9,188 人	7,811 人	7,280 人	6,578 人
	町補助金	847 千円	912 千円	986 千円	1,178 千円
合 計	輸送人員	87,378 人	80,927 人	73,956 人	73,864 人
	町補助金	19,842 千円	21,582 千円	21,306 千円	23,348 千円

＜福鉄バス＞

路線名		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
武生越前海岸線(国) かれい崎～越前武生	輸送人員	71,773 人	66,260 人	65,260 人	59,043 人
	町補助金	8,762 千円	9,946 千円	12,421 千円	17,722 千円
福浦線 (国) かれい崎～田原町	輸送人員	46,636 人	35,466 人	50,794 人	31,000 人
	町補助金	3,547 千円	6,771 千円	3,699 千円	13,232 千円
鯖浦線 (国) かれい崎～JR北鯖江	輸送人員	24,633 人	21,864 人	36,771 人	35,486 人
	町補助金	7,926 千円	6,609 千円	6,986 千円	9,335 千円
鯖浦線 (国) 織田～JR北鯖江	輸送人員	49,018 人	52,915 人	73,371 人	80,938 人
	町補助金	10,789 千円	6,787 千円	5,277 千円	5,943 千円
安養寺線 (県) 越前岬～越前武生	輸送人員	13,438 人	7,836 人	1,852 人	3,481 人
	町補助金	611 千円	1,616 千円	1,522 千円	2,844 千円
合 計	輸送人員	205,498 人	184,341 人	228,048 人	209,948 人
	町補助金	31,635 千円	31,729 千円	29,905 千円	49,076 千円

【路線バスの維持対策】

イ 高齢者の運賃補助

70歳以上の高齢者と心身障がい者が、町内区間に限り1乗車100円で乗車できるよう
路線バス運賃補助券1枚につき400円を京福バスと福鉄バスに補助 (単位：千円)

補助先	令和3年度 (R03.4~R04.3)	令和4年度 (R04.4~R05.3)	比較増減 (4年度-3年度)	摘要
京福バス	318	333	15	
福鉄バス	6,238	6,046	△ 192	
合計	6,556	6,379	△ 177	

ウ 通学定期券の購入補助

定期券の購入額から5千円/月を控除した額の8割を補助 (R5は6割→R6は5割と段階的縮減)
丹生高校へ通学するために購入した場合は全額補助 (町外生徒は3割) (単位：千円)

地区名	令和3年度 (R03.4~R04.3)	令和4年度 (R04.4~R05.3)	比較増減 (4年度-3年度)	摘要 (実人数)
朝日地区	13,398	7,990	△ 5,408	R03:99人 R04:92人
宮崎地区	7,388	5,405	△ 1,983	R03:58人 R04:44人
越前地区	10,393	7,108	△ 3,285	R03:58人 R04:47人
織田地区	10,879	9,151	△ 1,728	R03:77人 R04:81人
町外 (丹生高)	0	126	126	R03: -人 R04: 6人
合計	42,058	29,780	△ 12,278	R03:292人 R04:270人

路線バスの維持対策集計 (ア+イ+ウ)

(単位：千円)

項目		令和3年度	令和4年度	比較増減 (4年度-3年度)
ア 路線バス維持支援 補助金	京福バス	21,306	23,348	2,042
	福鉄バス	29,905	49,076	19,171
	小計	51,211	72,424	21,213
イ 高齢者の運賃補助		6,556	6,379	△ 177
ウ 通学定期券の購入補助		42,058	29,780	△ 12,278
小計		48,614	36,159	△ 12,455
合計		99,825	108,583	8,758

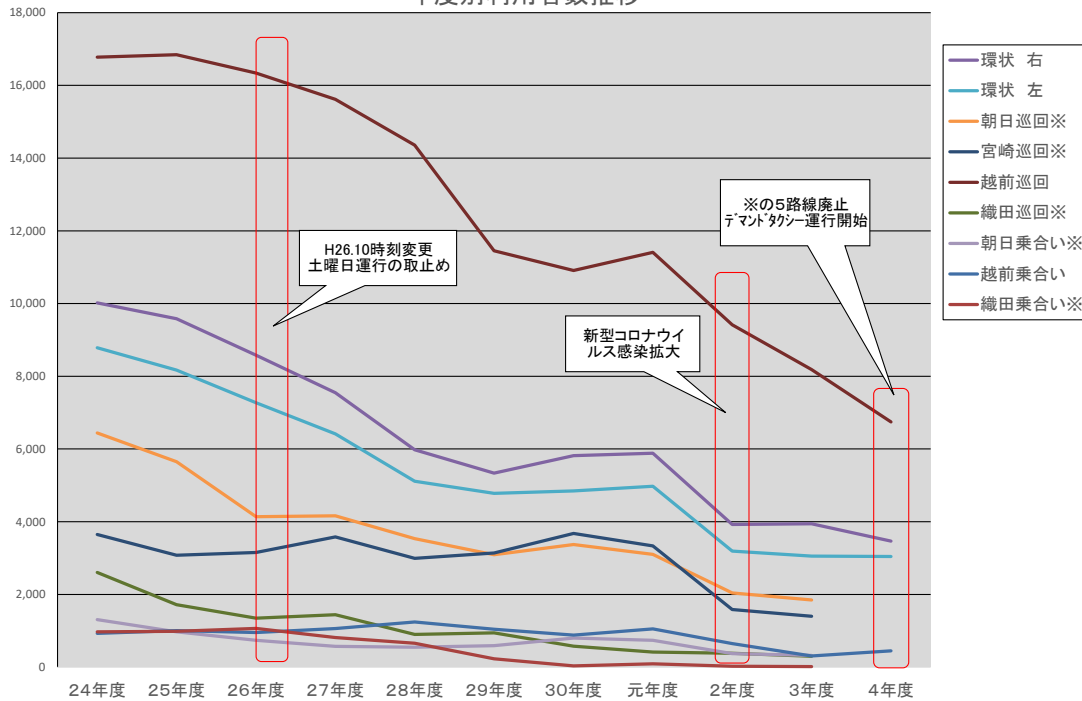
ルートごとの利用者数の推移

(単位:人)

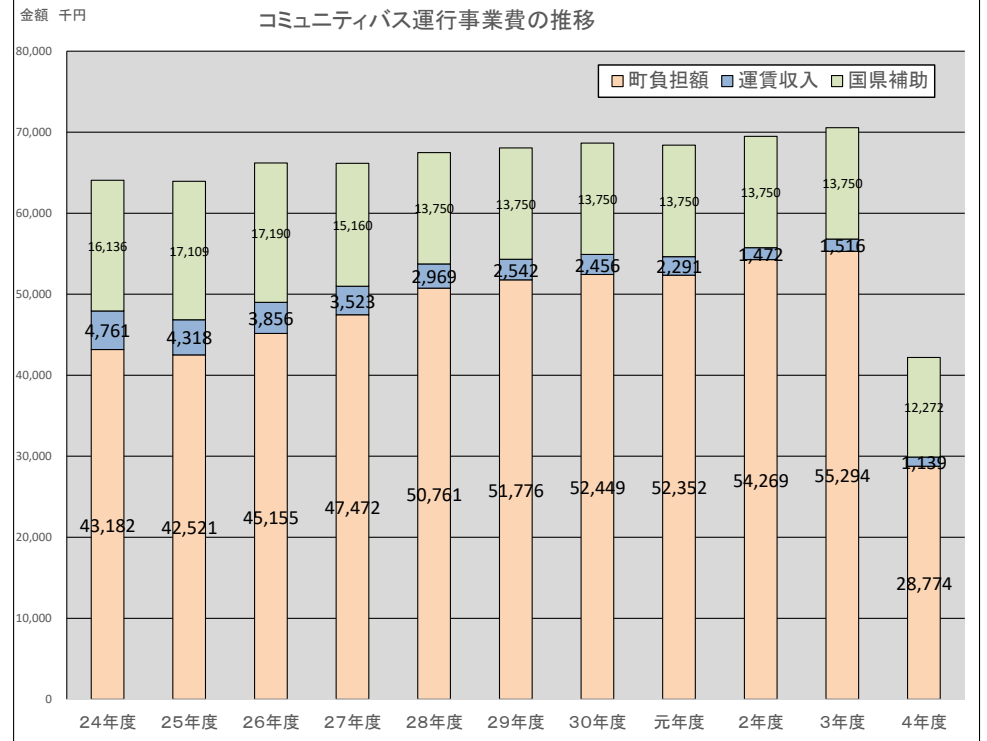
(単位:人)

ルート	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	令和3年度 (304日間)										3年度	令和4年度 (308日間)										4年度				
	(307日)	(308日)	(308日)	(308日)	(308日)	(300日)	(308日)	(309日)	(304日)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(304日)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(308日)
環状 右	10,018	9,584	8,580	7,546	5,976	5,334	5,815	5,884	3,922	356	312	337	314	330	339	339	354	373	279	276	334	3,943	303	333	332	293	318	232	267	292	278	225	250	343	3,466
環状 左	8,784	8,172	7,270	6,414	5,112	4,779	4,848	4,973	3,193	286	249	259	274	242	237	279	275	292	195	213	252	3,053	265	269	314	280	271	182	212	261	256	219	212	302	3,043
朝日巡回※	6,441	5,648	4,139	4,163	3,536	3,091	3,374	3,103	2,041	192	206	178	146	122	164	164	144	144	110	117	160	1,847	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎巡回※	3,648	3,076	3,155	3,581	2,991	3,138	3,677	3,332	1,583	184	140	154	117	118	113	106	103	91	54	81	138	1,399	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
越前巡回	16,776	16,844	16,339	15,615	14,357	11,449	10,911	11,406	9,418	858	714	804	690	698	679	650	663	655	544	568	659	8,182	561	600	658	577	642	605	564	563	473	446	457	598	6,744
織田巡回※	2,604	1,718	1,347	1,440	902	943	575	416	383	33	15	22	13	29	31	22	27	21	13	17	56	299	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
朝日乗合い※	1,307	970	740	570	548	592	802	740	370	33	35	23	18	16	19	19	34	41	27	23	34	322	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
越前乗合い	930	1,003	950	1,062	1,242	1,041	879	1,053	648	43	42	42	17	9	32	26	8	4	32	26	26	307	23	50	36	34	37	31	49	48	27	47	26	42	450
織田乗合い※	969	983	1,065	813	655	231	33	89	24	3	0	0	1	2	0	2	2	0	2	0	3	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	51,477	47,998	43,585	41,204	35,319	30,598	30,914	30,996	21,582	1,988	1,713	1,819	1,590	1,566	1,614	1,607	1,610	1,621	1,256	1,321	1,662	19,367	1,152	1,252	1,340	1,184	1,268	1,050	1,092	1,164	1,034	937	945	1,285	13,703

年度別利用者数推移



コミュニティバス運行事業費の推移



地域間幹線系統分析シート（令和4年度）

1. 系統の概要（県記載）

申請番号	運行系統名	事業者名		路線概要図
3	武生越前 海岸線	福井鉄道株式会社		※接続する路線にはフィーダー補助受給系統は必ず記載 ※その他の鉄道・バス路線については主なものを記載
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)	
越前武生駅 JR武生駅	八田・織田	かれい崎	33.3km	
関係市町村 <small>○内はH13.3.31現在の市町村 *は広域行政圏の中心市町</small>	越前市（武生市） 越前町（越前町、織田町、宮崎村）			
交通圏	越前交通圏			
運賃体系	対距離制（初乗り170円、最大1,130円）			
運賃設定の考え方	運行事業者の運賃体系による			

2. 地域間幹線系統補助に係る指標（県記載）

年度（補助年度）	H30	R1	R2	R3	R4
計画輸送量（人）	22.3	22.3	19.7	17.6	17.1
実績輸送量（人）	20.2	17.6	17.1	16.4	15.0
平均乗車密度（人）	3.9	3.4	3.3	3.1	2.9
運行回数（回）	5.2	5.2	5.2	5.3	5.2
経常収支率	49.1%	41.4%	41.6%	39.4%	34.8%
国庫補助額	7,171千円	7,864千円	6,259千円	6,395千円	6,443千円
県補助額	7,171千円	7,864千円	6,259千円	6,395千円	6,443千円
市町村補助額	7,612千円	10,523千円	15,598千円	20,077千円	21,421千円
確保維持改善事業⑤	C	C	C	C	C

3. 当該系統の必要性（市町村の意見を聴取した上で県が記載）

①並行鉄道・バス 路線の有無	なし
②広域利用の状況	主な利用は、越前海岸や織田方面から越前市内への通勤、通学、買い物等である。 利用割合は、通学66.25%、福祉（高齢者、障がい者等）5.0%、一般（買い物等）28.75%となっている。
③通院・通学利用 の状況	通学においては、武生高校や武生東高校（ともに越前市）の生徒約220人の利用があるが、生徒の数が減少傾向にあるため、利用も減少している。通院においては、中村病院、林病院等（ともに越前市）、織田病院（越前町）への利用がメインである。越前町から越前市内の高校に約70人の学生が通学定期券を購入しバス通学している。
④当該系統の補助 の必要性	越前町方面から越前市内への通学、通院、買い物利用及び福井鉄道福武線やJR北陸本線への乗り換え手段として必要不可欠な路線である。また、JR主要駅と観光地である越前海岸を結ぶ観光路線としても必要性が高い。

4. 接続する地域内フィーダー補助受給系統（市町村記載）

系統名	市町村・ 協議会名	運行（予定） 事業者	接続停留所	フィーダー補助額	
				国補助	県補助
宮崎織田デマ ンドタクシー	越前町地域 公共交通活 性化協議会	(有)日の丸タクシー	八田、陶芸村口 織田	957千円	1,087千円

5. 今後の関係者による生産性向上に関する取組予定

沿線市町村 の取組 (市町村記載)	(越前市) 高齢者等への運賃補助（火・木・土は、65歳以上の高齢者等が路線バス越前市内区間を100円で利用可）などによる利用促進を図り、広報誌やホームページ等での周知活動を積極的に進めていく。 (越前町) 高校生の通学定期券購入に対する補助制度や、70歳以上の高齢者が越前町内区間を100円で乗車できる運賃補助制度などにより利用促進に努めている。また、広報誌やホームページで補助制度と路線バス利用促進の周知を積極的に進めている。また、デマンドタクシーと接続することで、地域住民の利便性向上に取り組んでいる。
事業者 の取組 (県記載)	越前町内中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し、公共交通での通学をPRし利用促進を行う。また、病院や観光地(越前海岸)を通る路線であるため、高齢者向けの「はんわりバス」の周知や、福井県おでかけ応援事業「フリーきっぷ半額キャンペーン」とタイアップした2日間フリーきっぷ（休日バスフリーきっぷ）の造成による利用促進を図っていく。 福浦線、鯖浦線、越前海岸線の織田からかれい崎間の重複路線に関して、福井県、関係市町と見直しの検討を行っていく。また、安養寺線等越前市内の運行形態の見直しに関して越前市と検討を行っていく。
県の 考察 (県記載)	通学利用が66.25%を占める路線であるため、事業者による沿線学校での通学利用PRや越前町による通学支援補助制度を継続し、学生利用者を確保することが重要である。また、高齢者向け定期券「はんわりバス」の周知や、越前市・越前町による高齢者等への運賃補助を継続し、高齢者の利用を促進することが重要である。こうした取組みを継続し、学生や高齢者等の既存利用者の取りこぼしがないようにすることが重要である。 今年度は、福井県バスおでかけ応援事業として、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用促進を図っている。また、北陸新幹線開業に向けて、県において交通系ICカードの導入について支援し、ふくいMaaS協議会において電子企画切符の販売の実証実験を行い利便性向上に取り組んでいく。

地域間幹線系統分析シート（令和4年度）

1. 系統の概要（県記載）					
申請番号	運行系統名	事業者名			路線概要図
4	福浦線	福井鉄道株式会社			<small>※接続する路線にはフィーダー補助受給系統は必ず記載 ※その他の鉄道・バス路線については主なものを記載</small>
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)		
田原町	西田中・織田	かれい崎	44.9 km		
関係市町村 <small>() 内は H13.3.31 現在の市町村 *は広域行政圏の中心市町</small>	福井市（福井市） 鯖江市、越前町（朝日町、越前町、織田町）				
交通圏	福井交通圏、越前交通圏				
運賃体系	対距離制（初乗り100円、最大1,600円）				
運賃設定の考え方	運行事業者の運賃体系による				
2. 地域間幹線系統補助に係る指標（県記載）					
年度（補助年度）	H30	R1	R2	R3	R4
計画輸送量（人）	15.8	16.6	15.6	15.0	10.4
実績輸送量（人）	15.1	15.1	12.2	9.5	6.7
平均乗車密度（人）	4.6	4.6	3.6	3.3	2.5
運行回数（回）	3.3	3.3	3.4	2.9	2.7
経常収支率	53.9%	50.7%	42.7%	38.9%	28.2%
国庫補助額	6,962千円	7,100千円	7,893千円	8,246千円	5,803千円
県補助額	6,962千円	7,100千円	7,893千円	8,246千円	5,803千円
市町村補助額	2,847千円	3,965千円	8,697千円	6,850千円	3,699千円
確保維持改善事業⑤	C	C	C	C	C
3. 当該系統の必要性（市町村の意見を聴取した上で県が記載）					
①並行鉄道・バス路線の有無	福井鉄道福武線（浅水駅前～田原町） 京福バス運動公園線等				
②広域利用の状況	鯖江市・越前町→福井市 13名/日、福井市→鯖江市・越前町 13名/日 高校生 越前町→福井市 14名/日（定期券購入実績による）、福井市→越前町 14名/日 越前町から福井市への高校への通学に利用されている				
③通院・通学利用の状況	OD データにより、鯖江市・越前町⇄赤十字病院 1名/日、仁愛女子高校 6名/日、北陸高校・藤島高校 6名/日 高校生の通学：仁愛女子高校 8人、北陸高校 3人 福井高校 2人、道守高校 1人（定期券購入補助実績より）				
④当該系統の補助の必要性	越前町～鯖江市、福井市を結ぶ路線であり、鯖江市や越前町から福井市への通学や通院をする手段として重要な路線である。また、JR 主要駅と観光地である越前海岸を結ぶ観光路線としても必要性が高い。				
4. 接続する地域内フィーダー補助受給系統（市町村記載）					
系統名	市町村・協議会名	運行（予定）事業者	接続停留所	フィーダー補助額	
				国補助	県補助
宮崎織田デマントタクシー	越前町地域公共交通活性化協議会	(有)日の丸タクシー	織田、市場、織田病院	957千円	1,087千円
朝日デマントタクシー	越前町地域公共交通活性化協議会	(株)朝日自動車	西田中、越前町役場、古墳公園	764千円	391千円
5. 今後の関係者による生産性向上に関する取組予定					
沿線市町村の取組（市町村記載）	(福井市) 高齢者向け定期券「はんわりバス」や学生定期券「キャンパス」などの広報を行う。 (鯖江市)鯖江市コミュニティバスつっじバスとの接続状況等について HP 等で周知を行う。また、お得な切符やキャンペーンなどの情報について、広報や HP 等で周知を行う。 (越前町) 高校生の通学定期券購入に対する補助制度（R4年4月から丹生高校生が購入する通学定期券は全額補助）や、70歳以上の高齢者が越前町内区間を 100円 で乗車できる運賃補助制度などにより利用促進に努めている。また、広報誌やホームページで補助制度と路線バス利用促進の周知を積極的に進めている。また、デマントタクシーと接続することで、地域住民の利便性向上に取り組んでいる。				
事業者の取組（県記載）	越前町内中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し、公共交通での通学を PR し利用促進を行う。また、病院や観光地(越前海岸)通る路線であるため、高齢者向けの「はんわりバス」の周知や、福井県おでかけ応援事業「フリーきっぷ半額キャンペーン」とタイアップした2日間フリーきっぷ（休日バスフリーきっぷ）の造成による利用促進を図っていく。 福浦線、鯖浦線、越前海岸線の織田からかれい崎間の重複路線に関して、福井県、関係市町と見直しの検討を行っていく。				
県の考察（県記載）	越前町から福井市への通学や通院利用がメインの路線であるため、事業者による沿線学校での通学利用 PR や越前町による通学支援補助制度（R4年4月から丹生高校生が購入する通学定期券は全額補助）を継続し、学生利用者を確保するほか、高齢者向け定期券「はんわりバス」の周知や、越前町による高齢者等への運賃補助を継続し、高齢者の利用促進を図ることが重要であり、学生や高齢者等の既存利用者の取りこぼしがないようにすることが必要である。				

<p>今年度は、福井県バスおでかけ応援事業として、フリーきっぷが半額キャンペーンを実施し、利用促進を図っている。また、北陸新幹線開業に向けて、県において交通系 IC カードの導入について支援し、ふくい MaaS 協議会において電子企画切符の販売の実証実験を行い、利便性向上に取り組んでいく。</p>

地域間幹線系統分析シート（令和4年度）

1. 系統の概要（県記載）

申請番号	運行系統名	事業者名		路線概要図
6	鯖浦線	福井鉄道株式会社		
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)	※接続する路線にはフィーダー補助受給系統は必ず記載 ※その他の鉄道・バス路線については主なものを記載
JR 北鯖江駅	神明駅 織田	かれい崎	39.8 km	
関係市町村	鯖江市 越前町（朝日町、越前町、織田町、宮崎村）			
交通圏	越前交通圏			
運賃体系	対距離制（初乗り 170 円、最大 1,380 円）			
運賃設定の考え方	運行事業者の運賃体系による			

2. 地域間幹線系統補助に係る指標（県記載）

年度（補助年度）	H30	R1	R2	R3	R4
計画輸送量（人）	13.8	5.7	10.2	9.2	6.9
実績輸送量（人）	10.2	9.0	6.9	8.6	9.6
平均乗車密度（人）	3.4	3.0	2.3	3.2	3.2
運行回数（回）	3.0	3.0	3.0	2.7	3.0
経常収支率	39.8%	33.0%	26.6%	36.9%	33.8%
国庫補助額	3,238 千円	2,039 千円	3,492 千円	2,297 千円	2,238 千円
県補助額	3,238 千円	2,039 千円	3,492 千円	2,297 千円	2,238 千円
市町村補助額	5,486 千円	9,590 千円	9,223 千円	11,948 千円	9,320 千円
確保維持改善事業⑤	B	B	C	B	B

3. 当該系統の必要性（市町村の意見を聴取した上で県が記載）

①並行鉄道・バス 路線の有無	福井鉄道福武線（神明駅） JR北陸本線（北鯖江駅）
②広域利用の状況	鯖浦線全体の R3.10~R4.9 の乗降者の乗降者数は、JR北鯖江駅（乗 658 人、降 422 人）、商業施設（アル・プラザ鯖江）（乗 917 人、降 889 人）となっている。 主な利用は、越前海岸部や織田地区から鯖江市内への通学や通院、買い物等である。
③通院・通学利用 の状況	越前町から丹生高校への通学、また越前町から福井商業高校や啓新高校へ通学するため福井鉄道福武線神明駅までの移動に利用されている。高齢者の利用としては越前海岸や織田方面から鯖江市内への通院や買い物等の需要がある。
④当該系統の補助 の必要性	当該路線は、越前町と鯖江市を結ぶ重要な生活路線であり、越前町から福井鉄道福武線神明駅、JR北陸本線北鯖江駅への利用が一定数あるほか、商業施設への利用者も相当数いることから、沿線住民の交通利便性を確保するため、路線の維持をしていく必要がある。また、主に高校生の通学において、越前町から丹生高校や福井鉄道福武線神明駅乗り継ぎ利用が多く通学利便性を確保するため必要な路線である。

4. 接続する地域内フィーダー補助受給系統（市町村記載）

系統名	市町村・協議会名	運行（予定）事業者	接続停留所	フィーダー補助額	
				国補助	県補助
循環線	鯖江市地域 公共交通活 性化協議会	つつじ(株)、越前観光(株)、鯖江高 速観光(株)	神明駅	5,952 千円	4,812 千円
神明線		つつじ(株)、鯖江高速観光(株)		2,436 千円	1,509 千円
片上・中河線		つつじ(株)、鯖江高速観光(株)		2,663 千円	2,163 千円
吉川線		鯖江交通(株)		2,671 千円	2,169 千円
宮崎織田デマ ントタクシー	越前町地域 公共交通活 性化協議会	(有)日の丸タクシー	織田、織田病院、 陶芸村口	957 千円	1,087 千円
朝日デマントタ クシー	越前町地域 公共交通活 性化協議会	(株)朝日自動車	佐々生、西田中、 越前町役場	764 千円	391 千円

5. 今後の関係者による生産性向上に関する取組予定

沿線市町村 の取組 (市町村記載)	(鯖江市)鯖江市コミュニティバスつつじバスとの接続状況等について HP 等で周知を行う。お得な切符やキャンペーンなどの情報について、広報や HP 等で周知を行う。 (越前町) 高校生の通学定期券購入に対する補助制度（R4 年 4 月から丹生高校生が購入する通学定期券は全額補助）や、70 歳以上の高齢者が越前町内区間を 100 円で乗車できる運賃補助制度などにより利用促進に努めている。また、広報誌やホームページで補助制度と路線バス利用促進の周知を積極的に進めている。また、デマントタクシーと接続することで、地域住民の利便性向上に取り組んでいる。
事業者 の取組 (県記載)	越前町内中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し、公共交通での通学を PR し利用促進を行う。また、病院や観光地(越前海岸)通る路線であるため、高齢者向けの「はんわりバス」の周知や、福井県おでかけ応援事業「フリーきっぷ半額キャンペーン」とタイアップした 2 日間フリーきっぷ（休日バスフリーきっぷ）の造成による利用促進を図っていく。福浦線、鯖浦線、越前海岸線の織田からかれい崎間の重複路線に関して、福井県、関係市町と見直しの検討を行っていく。また、鉄道と

	接続している路線であり、鉄道との接続ダイヤを改善し、利便性の向上を図っていく。
県の 考察 (県記載)	<p>越前町から鯖江市、神明駅で福武線に乗り継いで福井市や越前市への通学利用があるため、つつじバスダイヤ改正による乗り継ぎの利便性を新たにPRするほか、事業者による沿線学校での通学利用をPRすることで学生利用者を確保することが重要である。事業者の高齢者向け定期券「はんわりバス」の周知や、越前町による高齢者等への運賃補助を継続し、高齢者の通院等での利用促進を図ることが重要である。</p> <p>今年度は、福井県バスおでかけ応援事業として、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用促進を図っている。また、北陸新幹線開業に向けて、県において交通系ICカードの導入について支援し、ふくいMaaS協議会において電子企画切符の販売の実証実験を行い、利便性向上に取り組んでいく。</p>

地域間幹線系統分析シート（令和4年度）

1. 系統の概要（県記載）

申請番号	運行系統名	事業者名		路線概要図
7	鯖浦線	福井鉄道株式会社		
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)	
JR 北鯖江駅	神明駅 西田中	織田	20.6 km	
関係市町村 <small>() 内は H13.3.31 現在の市町村 *は広域行政圏の中心市町</small>	鯖江市 越前町（朝日町、織田町、宮崎村）			
交通圏	越前交通圏			
運賃体系	対距離制（初乗り 170 円、最大 790 円）			
運賃設定の考え方	運行事業者の運賃体系による			

※接続する路線にはフィーダー補助受給系統は必ず記載
※その他の鉄道・バス路線については主なものを記載

2. 地域間幹線系統補助に係る指標（県記載）

年度（補助年度）	H30	R1	R2	R3	R4
計画輸送量（人）	22.8	8.2	11.8	14.5	14.8
実績輸送量（人）	12.0	14.1	15.9	20.3	22.0
平均乗車密度（人）	2.0	2.4	2.7	3.7	4.0
運行回数（回）	6.0	5.9	5.9	5.5	5.5
経常収支率	29.8%	32.9%	38.4%	51.3%	49.7%
国庫補助額	3,957 千円	3,108 千円	4,166 千円	3,997 千円	4,017 千円
県補助額	3,957 千円	3,108 千円	4,166 千円	3,997 千円	4,017 千円
市町村補助額	11,509 千円	15,664 千円	13,384 千円	11,046 千円	9,515 千円
確保維持改善事業⑤	B	A	A	A	B

3. 当該系統の必要性（市町村の意見を聴取した上で県が記載）

①並行鉄道・バス 路線の有無	福井鉄道福武線（神明駅） JR北陸本線（北鯖江駅）
②広域利用の状況	鯖浦線全体の R3.10~R4.9 の乗降者の乗降者数は、JR北鯖江駅（乗 658 人、降 422 人）、商業施設（アル・プラザ鯖江）（乗 917 人、降 889 人）となっている。 主な利用は、織田地区や宮崎地区から鯖江市内、福井市内への通学や通院、買い物等である。
③通院・通学利用 の状況	越前町から丹生高校への通学、また越前町から北陸高校や仁愛女子高校、福井高校へ通学するため福井鉄道福武線神明駅までの移動に利用されている。高齢者の利用としては織田や宮崎方面から鯖江市内への通院や買い物等の需要がある。
④当該系統の補助 の必要性	当該路線は、越前町と鯖江市を結ぶ重要な生活路線であり、越前町から福井鉄道福武線神明駅、JR北鯖江駅への利用が一定数あるほか、商業施設への利用者も相当数いることから、沿線住民の交通利便性を確保するため、路線の維持をしていく必要がある。また、主に高校生の通学において、越前町から丹生高校や福井鉄道福武線神明駅乗り継ぎ利用が多く通学利便性を確保するため必要な路線である。

4. 接続する地域内フィーダー補助受給系統（市町村記載）

系統名	市町村・ 協議会名	運行（予定） 事業者	接続停留所	フィーダー補助額	
				国補助	県補助
循環線	鯖江市地域 公共交通活 性化協議会	つつじ(株)、越前観光(株)、鯖江高 速観光(株)	神明駅	5,952 千円	4,812 千円
神明線		つつじ(株)、鯖江高速観光(株)		2,436 千円	1,509 千円
片上・中河線		つつじ(株)、鯖江高速観光(株)		2,663 千円	2,163 千円
吉川線		鯖江交通(株)		2,671 千円	2,169 千円
宮崎織田デマ ンドタクシー	越前町地域 公共交通活 性化協議会	(有)日の丸タクシー	織田、織田病院、 陶芸村口	957 千円	1,087 千円
朝日デマ ンドタク シー	越前町地域 公共交通活 性化協議会	(株)朝日自動車	佐々生、西田中、 越前町役場	764 千円	391 千円

5. 今後の関係者による生産性向上に関する取組予定

沿線市町村 の取組 (市町村記載)	（鯖江市）鯖江市コミュニティバスつつじバスとの接続状況等について HP など周知を行う。お得な切符やキャンペーンなどの情報について、広報や HP 等で周知を行う。 （越前町）高校生の通学定期券購入に対する補助制度（R4 年 4 月から丹生高校生が購入する通学定期券は全額補助）や、70 歳以上の高齢者が越前町内区間を 100 円で乗車できる運賃補助制度などにより利用促進に努めている。また、広報誌やホームページで補助制度と路線バス利用促進の周知を積極的に進めている。またデマンドタクシーと接続することで、地域住民の利便性向上を図る。
-------------------------	---

事業者 の取組 (県記載)	<p>越前町内中学校を卒業する生徒全員に路線案内、時刻表を配布し、公共交通での通学をPRし利用促進を行う。また、病院やショッピングセンター通る路線であるため、高齢者向けの「はんわりバス」の周知や、福井県おでかけ応援事業「フリーきっぷ半額キャンペーン」とタイアップした2日間フリーきっぷ（休日バスフリーきっぷ）の造成による利用促進を図っていく。また、鉄道と接続している路線であり、鉄道との接続ダイヤを改善し、利便性の向上を図っていく。</p>
県の 考察 (県記載)	<p>越前町から鯖江市、神明駅で福武線に乗り継いで福井市や越前市への通学利用があるため、つつじバスダイヤ改正による乗り継ぎの利便性を新たにPRするほか、事業者による沿線学校での通学利用をPRすることで学生利用者を確保することが重要である。事業者の高齢者向け定期券「はんわりバス」の周知や、越前町による高齢者等への運賃補助を継続し、高齢者の通院等での利用促進を図ることが重要である。</p> <p>今年度は、福井県バスおでかけ応援事業として、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用促進を図っている。また、北陸新幹線開業に向けて、県において交通系ICカードの導入について支援し、ふくいMaaS協議会において電子企画切符の販売の実証実験を行い、利便性向上に取り組んでいく。</p>

地域間幹線系統分析シート（令和4年度）

1. 系統の概要（県記載）

申請番号	運行系統名	事業者名		路線概要図
19	西田中宿堂線	京福バス株式会社		※接続する路線にはフィーダー補助受給系統は必ず記載 ※その他の鉄道・バス路線については主なものを記載
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)	
福井駅	清水プラント3	天王	21.5 km	
関係市町村 <small>() 内は H13.3.31 現在の市町村 *は広域行政圏の中心市町</small>	福井市（福井市、清水町、越廼村*）、越前町（朝日町）			
交通圏	福井交通圏			
運賃体系	対距離制（初乗り170円、最大630円）			
運賃設定の考え方	運行事業者の運賃体系による			

2. 地域間幹線系統補助に係る指標（県記載）

年度（補助年度）	H30	R1	R2	R3	R4
計画輸送量（人）	15.3	15.0	15.0	15.0	12.9
実績輸送量（人）	15.0	15.0	12.9	12.7	12.6
平均乗車密度（人）	5.0	5.0	4.3	4.4	4.2
運行回数（回）	3.0	3.0	3.0	2.9	3.0
経常収支率	62.0%	61.4%	50.2%	53.7%	50.0%
国庫補助額	2,174千円	2,218千円	2,549千円	2,751千円	2,284千円
県補助額	2,174千円	2,218千円	2,549千円	2,751千円	2,284千円
市町村補助額	0千円	0千円	2,901千円	1,739千円	2,116千円
確保維持改善事業⑤	C	B	C	B	C

3. 当該系統の必要性（市町村の意見を聴取した上で県が記載）

①並行鉄道・バス路線の有無	京福バス清水グリーンライン
②広域利用の状況	福井市清水地区（清水町）→福井市 22名/日、越前町→福井市 13名/日 福井市→福井市清水地区 15名/日、福井市→越前町 8名/日 福井市清水地区や越前町から福井市への通勤・通学利用、赤十字病院への通院等に利用されている。
③通院・通学利用の状況	ODにより、福井市清水地区⇄赤十字病院バス停 1名/日、越前町⇄科学技術高校入口バス停 12名/日 その他、福井駅まで当該系統を利用し、乗継ぎや徒歩等で通学している学生もいる。 通学では越前町から福井市内の高校に6人が利用している。
④当該系統の補助の必要性	越前町～福井市を結ぶ、朝夕を中心に運行する路線であり、広域的な通勤・通学利用の利便性を確保するために必要である。特に越前町からは福井市内の高校に通う高校生の移動手段として不可欠な路線であり、越前町の通学支援補助事業の利用促進を図りながら、路線を維持していく必要がある。

4. 接続する地域内フィーダー補助受給系統（市町村記載）

系統名	市町村・協議会名	運行（予定）事業者	接続停留所	フィーダー補助額	
				国補助	県補助
朝日デマンドタクシー	越前町地域公共交通活性化協議会	㈱朝日自動車	越前町役場、西田中、乙坂	764千円	391千円

5. 今後の関係者による生産性向上に関する取組予定

沿線市町村の取組（市町村記載）	(福井市)京福バス清水グリーンラインとともに沿線住民への周知を行う。また、高齢者向け定期券「いきいき定期」の広報により利用促進を図る。 (越前町) 高校生の通学定期券購入に対する補助制度や、70歳以上の高齢者が越前町内区間を100円で乗車できる運賃補助制度などにより利用促進に努めている。また、広報誌やホームページで補助制度と路線バス利用促進の周知を積極的に進めている。
事業者の取組（県記載）	Twitterでの運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。 その他、越前町と連携し、高齢者向け定期券「いきいき定期」をコミュニティバスでも利用できるようにして、定期券の販売増加を目指す。また、休日の乗車率を向上するため、休日フリーきっぷのセールスに努める。
県の考察（県記載）	越前町方面から福井市内への通院や通学利用が多い路線であるため、高齢者向け定期券「いきいき定期」や自治体による高齢者運賃補助制度、高校生への通学支援補助制度等を継続し、高齢者の利用増加を図ることが重要である。また、清水プラント3で接続するデマンドタクシー「ほやほや号」と組み合わせた利用を、福井市清水地区、越前町において沿線住民への周知を行い利用促進を図る。また、プラント3での買い物客への利用促進策を検討したい。 今年度は、福井県バスおでか応援事業として、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用促進を図っている。また、北陸新幹線福井開業に向けて、県において交通系ICカードの導入について支援し、ふくいMaaS協議会において電子企画切符の販売の実証実験を行い、利便性向上に取り組んでいく。

広域生活バス路線分析シート（令和4年度）

1. 系統の概要（県記載）

申請番号	運行系統名	事業者名		路線概要図
4	茶崎線	京福バス株式会社		<small>※接続する路線にはフィーダー補助受給系統は必ず記載 ※その他の鉄道・バス路線については主なものを記載</small>
起点	主な経由地	終点	系統キロ程 (km)	
福井駅	道守高校	水仙ランド 入口	37.0 km	
関係市町村 <small>() 内は H13.3.31 現在の市町村 *は広域行政圏の中心市町</small>	福井市（福井市、清水町、越廼村）、越前町			
交通圏	福井交通圏			
運賃体系	対距離制（初乗り 170 円、最大 730 円）			
運賃設定の考え方	運行事業者の運賃体系による			

2. 広域生活バス路線補助に係る指標（県記載）

年度（補助年度）	H30	R1	R2	R3	R4
計画輸送量（人）	9.9	9.9	8.1	9.3	7.2
実績輸送量（人）	8.1	9.3	7.2	6.0	6.0
平均乗車密度（人）	2.7	3.1	2.4	2.0	2.0
運行回数（回）	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
経常収支率	26.6%	29.9%	22.4%	20.0%	19.3%
県補助額	1,825 千円	1,825 千円	1,908 千円	1,952 千円	2,081 千円
市町村補助額	10,711 千円	16,212 千円	21,000 千円	18,488 千円	17,422 千円

3. 当該系統の必要性（市町村の意見を聴取した上で県が記載）

①並行鉄道・バス 路線の有無	京福バス越前海岸ブルーライン 福井交通ほやほや号茶崎ルート 福井市海岸地域バス
②広域利用の状況	越前町→福井市 0 名／日、福井市越廼地区（旧越廼村）→福井市 6 名／日、福井市清水地区（旧清水町）→福井市 18 名／日 福井市→越前町 0 名／日、福井市→福井市越廼地区 1 名／日、福井市→福井市清水地区 9 名／日 主に福井市方面への通勤・通学に利用されている。
③通院・通学利用 の状況	OD により、福井市越廼地区・清水地区⇄道守高校バス停 1 名／日 福井市内まで当該系統を利用し、乗継ぎや徒歩等で通学している学生もいる。
④当該系統の補助 の必要性	朝夕中心の運行であり、越前町、福井市越廼地区・清水地区から福井市内への広域的な通勤・通学の利便性を確保するために必要である。また起点終点である水仙ランドは越前水仙の観光拠点でもあり観光客の利用もあることから、生活路線と観光路線の両面で必要不可欠な公共交通機関である。

4. 接続する市町生活交通維持支援事業補助受給系統（市町村記載）

系統名	市町名	運行（予定） 事業者	接続停留所	県補助

5. 今後の関係者による生産性向上に関する取組予定

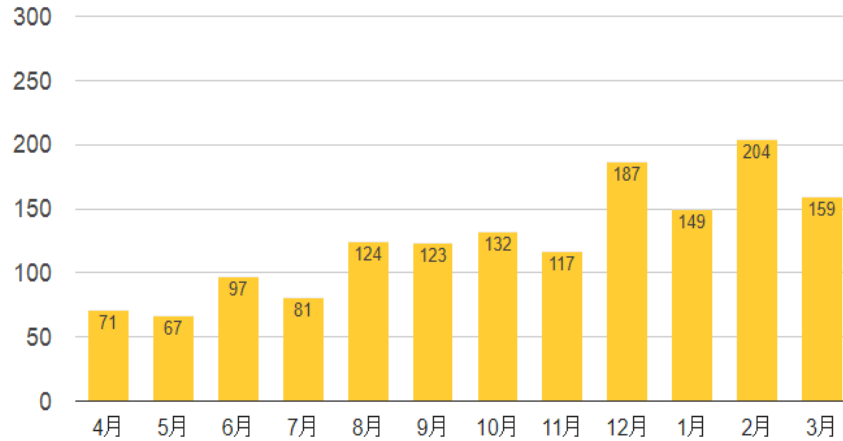
沿線市町村 の取組 (市町村記載)	(福井市)ホームページ等で休日フリーきっぷや高齢者向け定期券「いきいき定期」の広報を行い、利用促進を図る。 越前海岸 2 日フリーきっぷ等の広報を行い、京福バス越前海岸ブルーラインと合わせて越前海岸への観光利用の促進を図る。 (越前町) 高校生の通学支援補助制度や高齢者等への運賃補助制度などにより利用者確保に努めている。広報誌やホームページで補助制度と路線バス利用促進の周知を積極的に進めている。
事業者 の取組 (県記載)	Twitter での運行状況発信により、利便性の向上に努めた。また、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用拡大に努めている。 その他、高齢者向け定期券「いきいき定期」の広報を行い、通院のための移動手段として利用してもらうよう取組むほか、引き続き休日フリーきっぷのセールスに努める。
県の 考察 (県記載)	福井市越廼地区や清水地区、越前町から福井市中心部への通学・通勤利用があるため、利用者確保のための市町による支援が重要である。また、越前海岸に向かう路線であるため、越前海岸ブルーラインとあわせて越前海岸 2 日フリーきっぷや休日フリーきっぷ等を自治体の広報誌等で PR するほか、休日フリーきっぷを車内でも販売していることなどを積極的に PR し利用増加につなげたい。また、路線バスで行ける越前海岸の観光地の PR 等を行い、観光利用の促進につなげたい。 今年度は、福井県バスおでかけ応援事業として、フリーきっぷ半額キャンペーンを実施し、利用促進を図っている。また、北陸新幹線福井開業に向けて、県において交通系 IC カードの導入について支援し、ふくい MaaS 協議会において電子企画切符の販売の実証実験を行い、利便性向上に取り組んでいく。

令和4年度 チョイソコえちぜん実績報告

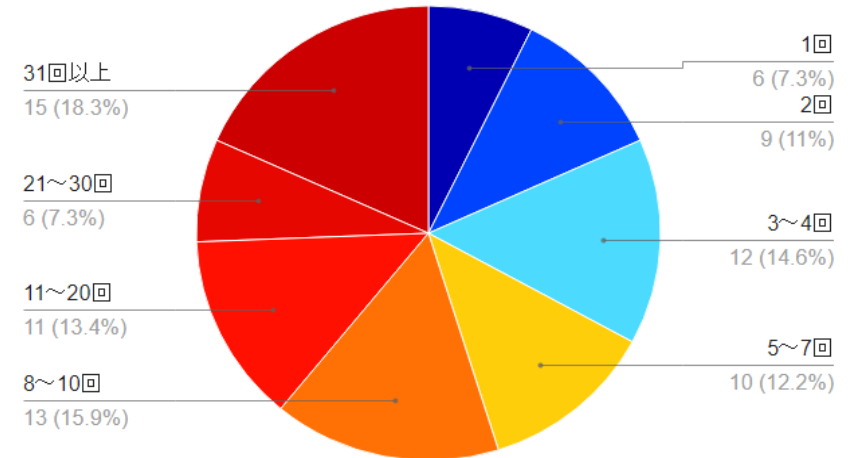


チヨイソコ実績 1

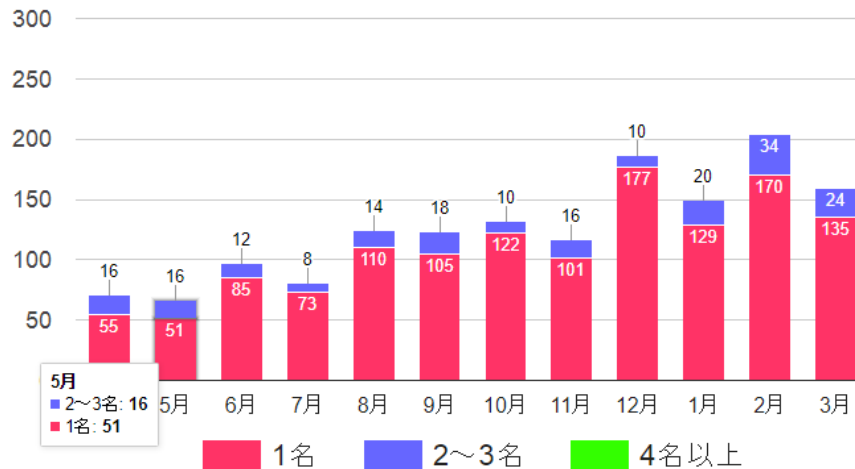
月別 予約件数



利用者一人当たりの予約件数割合

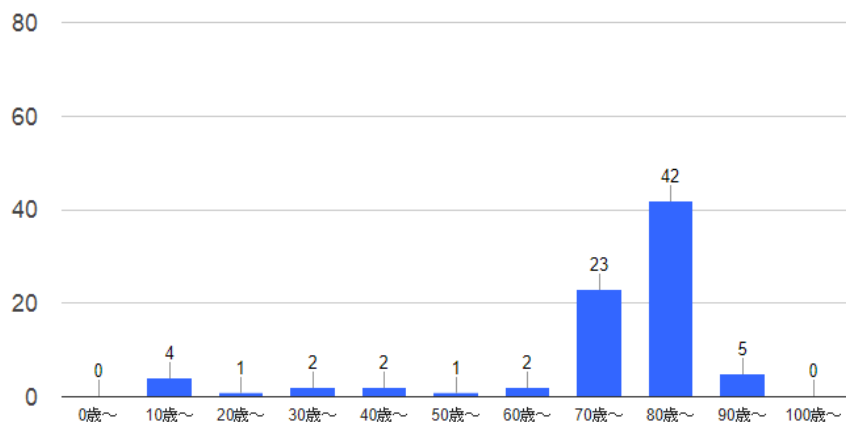


月別 予約件数 乗車人数別の内訳

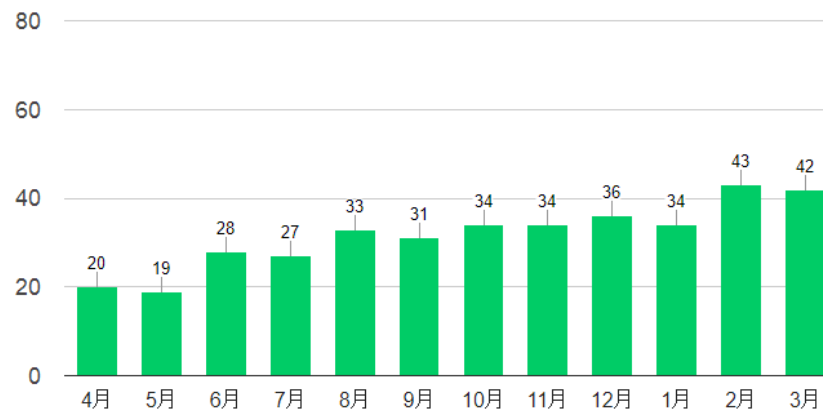


チヨイソコ実績 2

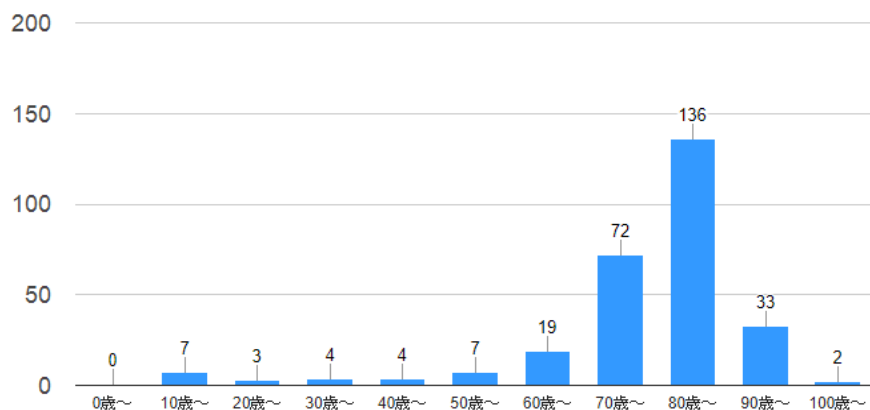
年代別 利用者数



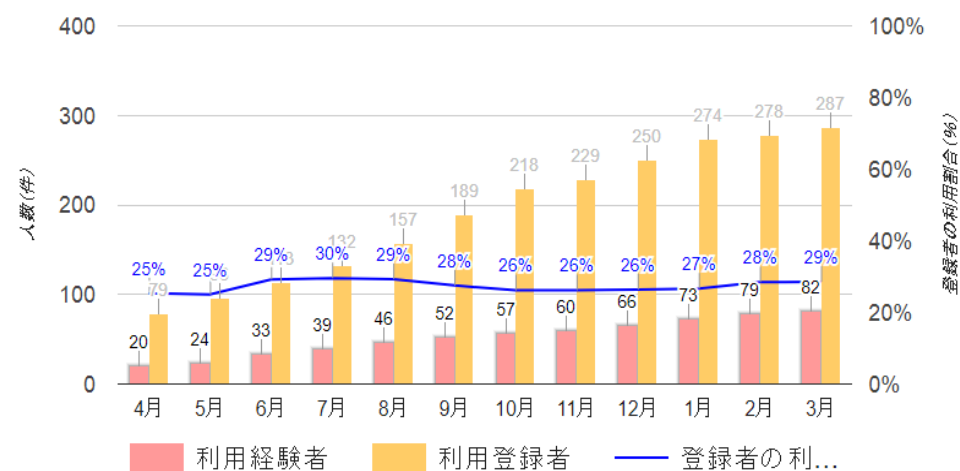
月別 利用人数



年代別 登録者数



登録者の利用割合



運行費用

単位：千円

事業内容	R 4 運行事業費 ①				R 3 運行事業費 ②	差引き ① - ②	
	運賃収入	町負担金	国補助	県補助			
デマンドタクシー委託料	14,789	561	11,029	1,721	1,478	0	14,789
コールセンター業務 基本システム使用料	5,513		5,513			0	5,513
コミュニティバス運行委託料	42,185	1,139	28,774		12,272	70,560	△ 28,375
合 計	62,487	1,700	45,316	1,721	13,750	70,560	△ 8,073

目標と実績の比較

路線名	目標値 (R4.10～R5.9) (利用者数) (運行回数)	実績値 (R4.4～R5.3) (利用者数) (運行回数)	達成率
朝日 デマンドタクシー	2,169人 976便	527人 446便	24.3% 45.7%
宮崎織田 デマンドタクシー	1,713人 976便	985人 870便	57.5% 89.1%

考察

- ・利用者、登録者は70代後半から80代の高齢者が多く、男女比は4：6
- ・1年間の実利用者数は82人。延べ利用者数は1,512人であることから、リピーターの多いことが分かる。
- ・延べ利用者数1,512人の内訳は、朝日区域527人、織田宮崎区域985人。
- ・曜日別では、金曜日の利用が一番多く、続いて火曜・木曜、次に月曜・水曜の順となる。決まった曜日に買い物や温泉施設に行くなどの利用がみられる。
- ・ほとんどの利用者が、希望する出発時間の前後10分間に乗車できている。
- ・予約方法は、電話が約90%、スマホ・パソコンがそれぞれ約5%

今後に向けて

各種会議への出張宣伝や広報等での周知を継続して行い、チョイソコの浸透を図る。また、新規利用者獲得のため、チョイソコの利便性を実感してもらうための企画を検討する。